

2025年度 長岡大学シラバス

授業科目名	ミクロ経済学 (Microeconomics)					担当教員	瀧波 慶信 (タキナミ ヨシノブ)	
2020-23年度 入学者(20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	資格対応科目／知識定着・確認 型AL
	2036-0-11-062	専門科目	必修	4単位	1年次	前期②		
2024-25年度 入学者(24K-25K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	資格対応科目／知識定着・確認 型AL
	2436-0-11-001	専門科目	必修	4単位	1年次	前期②		

① 授業のねらい・概要
ミクロ経済学は、消費者や企業などの経済を構成する主体がどの様に行動するかという考察から出発して、そうした主体から構成される市場経済がどの様に機能するかを解き明かす経済学の一分野である。ここではミクロ経済学の基礎理論を学習する。
② ディプロマ・ポリシーとの関連
職業人として通用する能力／専門的知識・技能を活用する能力
③ 授業の進め方・指示事項
講義形式であるが、練習問題を課して目標を達成しているかどうかを確認する。指名された学生は前に出て黒板に解答案を書くことが求められる。
④ 関連科目・履修しておくべき科目
特になし。
⑤ テキスト(教科書)※授業で使用する。
石田和之・高屋定美編著(2022)『ビジネスを学ぶためのミクロ経済学入門』中央経済社
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。
伊藤元重(2018)『ミクロ経済学第3版』日本評論社
⑦ 担当教員からのメッセージ(昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)
他に受講生に迷惑をかけることなく、素直に取り組むことが一番重要である。
⑧ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安
(i) 市場経済の仕組みを説明できる。 (ii) 市場経済にまつわる政策問題を理解できる。 (iii) ミクロ経済学の理論を用いて日常の経済問題を説明できる。

⑨ ルーブリック					
評価基準	S	A	B	C	D
評価項目	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 市場経済の仕組みの理解度	理論を応用して市場経済を説明できる	理論を当てはめて市場経済を説明できる	理論の説明書を参考に市場経済を説明できる	理論の理解が不十分で市場経済の説明が十分でない	市場経済の仕組みを説明できない
(ii) 政策問題の認識	市場経済における政策問題を認識し解決策を提言できる	市場経済における政策問題を認識できる	市場経済における必要な政策をあまり理解しない	市場経済において政策問題があることをあまり理解しない	市場経済で起きている政策問題を認識できない
(iii) 日常生活の経済学	日常生活における経済問題を認識し理論を用いて解決策を提言できる	日常生活における経済問題を認識し解決策を探る態度がある	日常生活における経済問題を認識するが解決策を探らない	日常生活における経済問題を認識するが理解できない	日常生活における経済問題を考えることができない

⑩ 学習到達目標（評価項目）	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	60%				40%		100%
(i) 市場経済の理解	20%				20%		40%
(ii) 市場経済の政策	20%				10%		30%
(iii) 市場経済の経済問題	20%				10%		30%
フィードバックの方法	理解度を図るために、受講生が前に出て解答する機会を設ける。						

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物）	
1	ガイダンス	授業の概要、進め方	120分
2	経済学の基本	経済学とは	120分
3	消費者行動①（効用と無差別曲線）	効用とは何かを理解する	120分
4	消費者行動②（効用最大化）	効用最大化の意味を考える	120分
5	消費者行動③（需要曲線）	代替効果、所得効果について考える	120分
6	企業行動①（企業とは）	企業について考える	120分
7	企業行動②（企業が生産するための条件）	収入、費用について考える	120分
8	企業行動③（完全競争市場）	完全競争市場の意味を知る	120分
9	企業行動④（供給曲線）	供給曲線の意味を考える	120分
10	市場均衡①（需要と供給）	需要と供給の関係を考える	120分
11	市場均衡②（価格調整メカニズム）	価格の決まり方を理解する	120分
12	市場均衡③（余剰分析）	パレート最適について考える	120分
13	不完全競争市場①（現実の市場）	現実の市場を理解する	120分
14	不完全競争市場②（独占企業の利潤最大化）	独占とは何かについて考える	120分
15	不完全競争市場③（寡占市場）	寡占とは何かについて考える	120分
16	企業戦略①（市場シェア）	市場シェアとは何かについて考える	120分
17	企業戦略②（複占企業）	複占企業とは何かについて考える	120分
18	企業戦略③（ゲーム理論）	ゲーム理論について考える	120分
19	労働市場①（労働需要）	労働需要について考える	120分
20	労働市場②（労働供給）	労働供給について考える	120分
21	労働市場③（均衡と変化）	均衡の意味を理解する	120分
22	労働市場④（賃金と雇用）	賃金と雇用について考える	120分
23	政府と企業①（市場の失敗）	どうして政府が必要かについて考える	120分
24	政府と企業②（課税の効果）	どうして課税が必要かについて考える	120分
25	政府と企業③（公共財）	公共財について考える	120分
26	政府と企業（外部性）	外部性について考える	120分
27	国際貿易①（貿易の役割）	国境を越えた財の取引について考える	120分

28	国際貿易②（国際分業）	比較生産費説について考える	120分
29	国際貿易③（自由貿易と保護貿易）	自由貿易と保護貿易について考える	120分
30	まとめ	学習した内容を振り返る	120分

⑫ アクティブラーニングについて			
知識定着・確認型ALを採用する。練習問題等を通して、知識の定着を図る。			

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目			
実務経験の概要			
実務経験と授業科目との関連性			